

## 平成26年度「市長と語りあう会」について

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
7月16日（水）	鎌手地区振興センター	19:00～20:10	23	3	26

#### ○市側出席者

市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書広報課長

### 2 会の概要

#### ○開会（秘書広報課長）

- ・ 会の趣旨説明
- ・ 出席者紹介

#### ○あいさつと市政運営の説明（山本市長）

##### (1) 平成25年度の主な成果（“ネットワークの構築と活用”に関連）

平成25年度は施政方針において「人口拡大への挑戦」、「財源の効率的配分」、「ネットワークの構築と活用による産業の活性化」の3つの基本指針を掲げてのぞんだ。

成果として、「ネットワークの構築と活用の観点」から

##### ①都市交流の進展…昨年4月、高槻市（姉妹都市）、若狭町とで災害時相互応援協定締結

昨年7月、川崎市と文化、スポーツ等の交流に関する覚書締結

豊中市とは空港で結ぶ友好都市連携協定を締結

これにより、大都市との交流が進み、行政の連携から民間の連携へとつなげていきたい。また萩・石見空港の利用促進にもつなげたい。

##### ②中須東原遺跡の国史跡指定…今年3月国史跡に指定されたことも大きな進展であるが、東京大学史料編纂所と島根県古代文化センターとの共同研究を同時並行で進めた成果であると考えている。今後、国史跡指定を受けて遺跡の活用等を進めていきたい。

##### ③県立大学との連携協力協定…25年度は「空港の潜在利用の調査研究」、「匹見峡温泉などの観光資源の活用方法」等のテーマをもって研究し提言をいただいた。

##### ④東京路線2便化…国の政策コンテストにおいて、地元利用拡大促進協議会、島根県、全日空の3者の共同提案が採択されたことによる。また近隣市町との連携も大きかった。この増便は平成26年度から2年の限定である。この2年間で利用実績を上げていかなければ、また1便に戻る事となる。市民の皆さまには積極的な利用をお願いしたい。

##### ⑤山陰自動車道の整備促進…鎌手地区も大きく関わっているが三隅益田間は平成24年度に事業化となり、予算を含め、国に大きな取り組みをしていただいている。整備促進に向けた民間団体との連携（ゆうひライン女性の会、臨空ファクトリーパーク立地企業連絡会）も強固にし、一層の促進を図っていく。

##### ⑥給食調理場の整備の進展…10年来の話であったが、ようやく昨年7月議会の了解を得て、今年度から着工し、28年度当初から供用開始を予定している。地産地消や食育を進めるため、農家、食品流通業者との連携を進め、地元の産業振興にもつなげていきたい。

##### (2) 平成26年度の展望

##### ①行財政改革と平成26年度予算概要…平成17年12月発せられた財政非常事態宣言により一定程度の成果はあったが、合併10年の今年、来年度から交付税が5年間で多額の歳入減となる予定である。

昨年12月、新たな行財政改革指針策定し、財政非常事態宣言を解除した。これは財政状況が好転したわけではなく、今後大きな事業が必要であること、宣言自体が形骸化していたためである。秋期が決められていない宣言ではなく、平成25年度～28年度にかけて集中改革期間としてよ

り徹底した行財政改革を進めることとしている。

平成26年度予算については、当初予算288億円となっているが、日赤の建て替え、学校給食調理場の建設、市役所本庁舎や学校の耐震化、災害復旧など先送りできない課題への対応のため、予算が膨らんだ。

これは決して心配することではなく、これを踏まえ行財政改革指針を策定しており、この指針に従い実施することで将来的にも安定した運営が可能となる。

②人口拡大計画における重点課題…日本では人口問題は大きくクローズアップされている。50年後の人口1億人を維持しようとしているし、県でもはじめて人口70万人を割り込み大きな危機感を持っている。人口減が経済低迷の背景となり、社会保障にも影響が出ることとなるため、人口を増やそうとする機運が高まっている。U I ターンを増加させ、人口増を図らなくてはならないとしている。

このことから益田市では人口拡大計画を策定し、平成26年度から様々な取組みを行なって行くこととしている。

実施する上で、「子育て世代に手厚く」「U I ターン大歓迎」「中山間地域を元気に」の3つの切り口に力点を置いている。

とりわけ益田市の大部分を占める中山間地域が元気にならなければならないと考えている。

新しく行なう事業と拡充する事業について4つ紹介すると、児童医療費助成・U I ターン者応援・コンベンション等誘致・学び舎ますだ事業がある。

## (2) 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は、別紙のとおり。

- ①財政非常事態宣言解除について
- ②鎌手地区の学校再編について- 1
- ③鎌手地区の学校再編について- 2
- ④人口拡大の重点課題について
- ⑤山陰自動車道整備に係る移転対応と学校再編について
- ⑥公衆便所とバス待合所の設置について
- ⑦市長市議選挙について
- ⑧9号線の歩道整備について

○ 閉 会 （秘書広報課長）

# 平成26年度「市長と語りあう会」

〔会場 鎌手地区振興センター〕 開催日時：平成26年7月16日（水）19:00～20:10

要 望 事 項 等	回 答
<p>①財政非常事態宣言解除について 財政非常事態宣言解除と書いてあるが、益田市の負債がなくなったということか。</p>	<p>①負債がなくなったわけではない。事業を実施する際、起債により対応しているが、これはまだ400億円弱残っている。合併特例債、過疎債、辺地債などは国が地方交付税で約7割を補填するので実質返済額はもっと少なくなる。また国が発行する赤字国債とは性質が違い、市債は投資的起債であり、借金をしなければ逆に市民サービスが滞ってしまう。これからも返済を続け借金を減らしていく。決してつけを将来に回すものではないことを理解していただきたい。</p>
<p>②鎌手地区の学校再編について-1 鎌手地区の学校再編によって、先生がいなくなるが、人口拡大と逆行する気がするがどうか。</p>	<p>②鎌手地区以外でも学校再編をすすめている。地区の再編協議会で議論いただき、合意を得たところで再編を行なうこととしている。鎌手地区でも中学校において結論をいただいたところである。学校を減らすのは望ましいことではないが、学習やスポーツの厚みを増し、教育の質を一定に保つためには必要と考えている。 したがって地域の振興、教育の質の維持両方の観点から学校再編を進めているところである。</p>
<p>③鎌手地区の学校再編について-2 30年前に中学校で問題になり、統合に反対した経過がある。学校がないところではU I ターンも見込めない。学校の大小に学習への影響はないと聞いている。特徴のある学校づくりをし、校区の縛りをなくすなどすれば、統合の必要はないのではないか。</p>	<p>③地域に学校が有る無しで言えば、有った方がいいと考えている。学校で生徒が少ないが故に出来ないことがでてくる。地域にあったほうがいいのか、学校は遠くなるが充実した教育を受けられることがいいのか、このことは一概には決められない。越境入学は現在もあるが、そうすると保護者も地域から出て行くことが考えられる。また益田へのU I ターン者は、統合され学校のない地域にも入っている。 校区の範囲が大きくなることで、学校活動の幅も他地域との交流など広がりを見せることから、広い視点で教育を考えていくことが大切である。 また一方で学校がなくなった地域での地域振興も教育委員会とは別の部署になるが、一生懸命考えていかなければならないと思っている。</p>
<p>④人口拡大の重点課題について 人口拡大で一番大切なのは若い人の働き口だと考えるが、人口拡大計画での重点課題として捉えるべきではないか。人口拡大課より企業誘致課を立ち上げ、全国的にPRした方がいいのではないか。</p>	<p>④確かに人口減少の最後の歯止めは、雇用の確保と考えている。 この4つの重点事業については、今年度新しく取り組むこと、他で取組みのない特色あるものを掲げている。 市ではすでに産業支援センターにおいて既存企業の支援と新規企業の誘致を進めている。 昨年度から県の企業立地課へ市職員を派遣し、県の情報をいち早く察知するとともに、誘致をすすめるためのノウハウの取得を考えている。 企業が景気不安のため、国内への生産拠点移行は非常に難しい中、益田市の多くの利点をPRし</p>

<p>⑤山陰自動車道整備に係る移転対応と学校再編について 山陰自動車道により、平原地区は何十件と移転となる。高齢者が多い中で、市が移転者の住宅整備をしていただくことはできないか。 また鎌手地区での学校統廃合の考え方について配慮していただくことはできないか。</p> <p>⑥公衆便所とバス待合所の設置について 益田から鎌手の間には公衆便所がない。高齢者が多く困っておられるので、設置していただきたい。 また西平原地区には、バス停に待合所がないので、高齢者や子供の乗降者が多いが、不自由しているので設置して欲しい。</p> <p>⑦市長市議選挙について 市議選と市長選と1年ずれているが、一本化にし、同日にすれば、経費的にも効果的ではないか。</p> <p>⑧9号線の歩道整備について UIターン者であるが、職場があり、学校があるためこの町に住むことを決めた。雇用や学校がないところには人は来ないというのが私の意見である。 もうひとつ大浜から鎌手小学校への国道9号線で歩道がない。通学路でもあり、危険なため対応をお願いしたい。</p>	<p>企業誘致に力を入れていく。</p> <p>⑤高速道路では西平原下の上地区をはじめ多くの方にご迷惑をかけているが、事業推進にあたっては、国、県、市一体となり取り組んでおり、ご理解、ご協力をいただきたい。特に地権者の皆様方に対しては、住宅建設までは難しいが、代替土地の手当てについては、一生懸命市も汗をかいていきたい。またできるだけ地域の集落が維持できる様に話をしていきたい。用地買収が進まないと着工ができない。そうすると必要性がないと判断され事業自体が先延ばしになる可能性があるので、地元のご協力をお願いするとともに、市としても事業の早期完了目指して頑張っていきたい。 学校再編については教育委員会の報告では今のところ対策協議会からは前向きな方向であると同っている。しかし不安も残っていると思うので解消のため、市も力を入れていく。</p> <p>⑥ご要望としていただいたので、受け止めて、可能かどうかも含め、検討したい。</p> <p>⑦来年8月に市議選があるが、同時に市長選となると市長を辞職しなければならない。仮に選挙を行なったとして、出直し選挙で当選しても残任期間までで、次回以降もこのずれは解消しない。これは公職選挙法で決まっており、市条例では及ばない法定事項である。 他の自治体でも同様な案件があったが、どうにもならなかった。</p> <p>⑧道路のことについてお答えする。 大浜の歩道整備については、国土交通省に危険重点個所として要望し、現在事業化されている。今後も早期に完成するよう予算化や事業促進について要望していく。</p>
--	---